

大規模氾濫に対する減災に向けて 洪水に対する住民意識調査を行います！

～「吉野川洪水意識調査」アンケートを実施～

吉野川上流・下流大規模氾濫に関する減災対策協議会※1の取組の一環として、吉野川流域にお住まいの住民を対象に、洪水リスクに対してどのような意識を持っているのかを調べるアンケート調査を行います。

このアンケート調査結果は、洪水時における吉野川流域の皆様の安全で迅速な避難の検討に活用してまいります。

できる限り多くの方々にご回答いただきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 実施期間

○ 令和3年9月17日（金）～10月22日（金）（予定）

2. アンケート回答用ウェブサイト

下記URLもしくは右記よりアクセス

URL : <https://r10.to/haUKPq>



※1：吉野川上流・下流大規模氾濫に関する減災対策協議会

（構成員：吉野川沿川14市町、徳島県、水資源機構、気象庁、国土交通省）

吉野川の河川管理者、県、市町等が連携して減災のための目標を共有し、堤防の決壊や越水等に伴う浸水被害に備えるべく被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的としている。

令和3年 9月17日

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏域広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

電話：088-654-2211（代表） 088-654-9611（直通）

副 所 長 黒田 稔生 （内線206）

◎河川調査課長 林 昌宏 （内線351）

◎主たる問い合わせ先

吉野川洪水意識調査 ご協力をお願い

近年、全国各地で洪水等の水災害が頻発・激甚化しています。平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨、平成 30 年 7 月豪雨、令和元年東日本台風など、毎年のように人命や財産が失われるような被害が発生しています。

このようなことから、吉野川流域においても、施設能力を超過する洪水が発生することを前提に、社会全体で洪水に備える水防災意識社会の再構築を一步進め、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、流域治水を推進していく必要があります。

吉野川においては、平成 28 年より吉野川の大規模氾濫に関する減災対策協議会を設置し、河川・ダム管理者、徳島県、市町等が連携して減災のための目標を共有しながら、堤防の決壊や越水等に伴う浸水被害に備えるための取組を推進しています。

今回、この取組の一環として、これまでの取組の効果検証や今後の減災に向けた取組をより良くしていくために、吉野川流域にお住まいの皆様からご意見をいただくアンケート調査を行うことといたしました。

お忙しいとは存じますが、本アンケートの目的をご理解の上、ぜひご意見をお寄せ下さい。

ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理致しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。また、吉野川洪水意識調査以外の目的で使用することはありません。

※アンケート回答用ウェブサイト

<https://r10.to/haUKPq>



参考として以下のウェブサイトもご覧ください。

○流域治水の推進に関するウェブサイト

<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html>



○吉野川水系流域治水プロジェクトに関するウェブサイト

http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/yoshinoriver/ryuiki_pro/ryuiki_pro.htm

